

【 生徒心得 】

1 教室の使用について

- ◎ 朝，最初に登校した人が，職員室に鍵を取りに来て，教室を開ける。鍵は教室黒板横の鍵かけにかけておく。
- ◎ 特別教室に移動するときは，教室の戸締まりをきちんとする。鍵は日直または係が職員室に返し，取りに行く。
- ◎ 学校朝会・生徒朝会・学園朝会の時も，同じように教室の戸締まりをする。
- ◎ 教室は授業などでみんなが一番利用する場所です。クラス全員で美化を心がける。
- ◎ 教室に設置してある公共物は大切に利用する。

2 昼食について

①昼食時間

(平常の場合) 1 2 時 3 5 分～1 2 時 5 0 分

※チャイムが鳴るまで，教室から絶対に出ない。

※日程の変更がある場合は，そのときに出される指示に従う。

②食べるときの注意

○みんなで仲良く食べる。

○牛乳は希望した人が飲む。

○お茶を飲む湯飲みなどのコップは，各自が持参して管理する。

③パンの申し込み

○朝 8 時 1 0 分までに登校し，係にお金を添えて申し込む。できるだけおつりのいらないように小銭を用意する。

○係は，注文袋に注文書と代金を入れて，8 時 1 5 分までに，職員室の缶の中に入れる。

○申し込みが遅れ注文できなかったときは，各学級担任に申し出る。

④パン・牛乳・お茶を取りに行く場所

各クラスの食事係は，次の場所へそれぞれ取りに行く。他クラスのものと間違えないように注意する。

○パン…第 2 校舎 1 階北側階段近くのパン置き場

○牛乳…第 2 校舎 1 階北側階段近くの保冷库

○お茶…第 2 校舎 1 階給湯室

⑤片付け

- パンの袋は、ごみ箱にきちんと入れる。パン箱は、元の位置に返す。
- 牛乳は、飲み終えたらパックのすきまにストローをさし、切り開いた状態で小さく折り、1つのパックに5～6個入れ、所定の場所に捨てる。
- やかんは、余ったお茶を流しに捨て、かるく水道水でゆすいで、給湯室へ返却する。
- 昼食を食べ終わっても、12:50までは教室から出てはいけない。

3 掃除について

- ◎ クラス、班に割り当てられた範囲を、責任をもって掃除する。
- ◎ 全員で協力して、担当場所を隅々まで掃除をする。
- ◎ 掃除が終わったら、チェック表に必要な事項を記入し、監督の先生にサインをもらい先生の許可を得てから解散する。

4 職員室への出入りについて

①用事があって入室するときは

- ドアを開け「失礼します」といい、中に入って「〇年〇組の〇〇です。〇〇先生いらっしゃいますか」と用のある先生を呼んで、用件を簡潔に伝える。
- 鍵・出席簿・健康観察などを取りに来た場合は、「〇年〇組の〇〇です。△△教室の鍵（出席簿・健康観察）を取りに来ました。」といい、近くの先生の許可を得て持っていく。
- 先生に頼まれたものを取りに来た場合は、「〇〇先生に頼まれて△△を取りに来ました。」と言い、近くの先生にとってもらう。職員室の中のもの、勝手に見たりさわったりしてはならない。

②入室の時の注意事項

- 入室時は、職員室の中に入って、入り口付近で用件を伝える。

5 保健室の利用について

- ◎ 体調の悪いとき（頭痛・腹痛など）は、担任の先生、教科担任に申し出て、保健室の養護教諭にみてもらうこと。勝手に入ってはいけません。
- ◎ 用事のない人が付き添ってはいけない。状況によって、必要がある場合は教科担任の指示で保体委員が付き添うこと。
- ◎ 詳細は、「保健だより」等を参考にする。

【服装規定について】

現在、警固屋中学校では、以下のような規定が設けられています。規則を改正するには、誰もが納得する理由が必要です。「もっとこうしてほしい。その理由は〇〇だから。」というような意見を、生徒総会で出し、生徒で活発に討論してもらいたいと思います。

1 服装

男子

冬期：黒の詰めえり学生服（標準服）下に、白カッターシャツを着用する。

黒の学生ズボン（標準服で特別に変形したものはいけない）

黒または紺色のベルトを使用する。

学生服の下に着用するカッターシャツの袖のボタンはきちんとする。

夏期：黒の学生ズボンに校章入り半袖開襟シャツ，白カッターシャツ，または白ポロシャツ。校章入りシャツ，白ポロシャツは，5月ごろ学校が斡旋する。下着（白系統）を着用する。色Tシャツは不可。

女子

冬期：紺の学生服（テラーカラーのダブルの上着），ベスト着用可，プリーツスカート（長さは膝こぞうの下の線までとする）

学生服の下に着用するカッターシャツの袖のボタンはきちんとする。

夏期：上記スカートに，校章入り半袖開襟シャツ，白カッターシャツ，または白ポロシャツ。校章入りシャツ，白ポロシャツは，5月ごろ学校が斡旋する。下着（白系統）を着用する。色Tシャツは不可。

※衣替えは，気象状況等を判断し移行期間を設け，その期間内に行う。

※セーターは，黒・紺・白・グレーのVネックとし，タートルネックは禁止する。

2 名札

本校指定のものを，左胸前につける。（開襟シャツ，ポロシャツ等で名前が刺しゅうしてある場合には，つけなくても良い。）

3 通学靴

運動しやすいもので，白色とする。赤・青等の線入り，文字入りはいけない。

4 靴下

男子・女子とも白のソックス（ライン入り，ワンポイント，ハイソックスや短すぎるもの，くるぶしソックスはいけない。ソックタッチの使用は不可。）もし，はいてきたときは学校に保管しているソックスにはきかえる。

5 髪型

頭髪は常に清潔で、学習や運動に適した中学生らしい髪型であること。

○整髪料は、使用しないこと。

○流行を追わない髪型にすること。

(染色、脱色、パーマ、カール、そりこみなど特別な髪型にしない。)

男子：長髪、短髪は自由であるが、前髪は目にかからないこと。

女子：髪は肩にかからないようにする。それ以上伸ばすときは、目立たない色のゴム(黒・紺・茶)で結ぶ。前髪は目にかからないようにする。

○眉そり等、アイメイクを作為的にしない。

6 カバン

通学カバン：学校指定の型(別紙の図参照)とする。(キーホルダーなどの飾りをつけない。)

通学は、通学カバンまたは補助カバンのみとし、他のカバンや袋は使用しない。

7 体育時の服装

男女とも本校指定の体操服を着用すること。

○保健体育、技術・家庭科の授業、部活動などに使用します。

8 その他

◎冬期、手袋とマフラーの着用は登下校のみ許可しています。着脱は、下足棟で行うこと。ただし、長すぎたり、華美でないものを着用すること。

◎ジャンパー・オーバーなどの着用はできない。(特別な場合は、先生に許可を得ること。)

◎学習に不必要なもの、不要なお金は持ってこないこと。

【部活動】

① 部活動は、全員入部です。

② 運動部は、毎日活動します。

③ 特に7年生の場合は、4月下旬まで借り入部期間とし、その後は原則として変更は認めません。

④ 放課後の活動時間は、夏時間と冬時間と区別します。

夏時間(3月卒業式後～11月新人戦まで)・・・午後5時30分まで

(6:00完全下校)

冬時間(11月新人戦終了～3月卒業式まで)・・・午後5時まで

(5:30完全下校)

- ⑤ 原則として、顧問の先生が不在の時は、放課後の活動はできません。
- ⑥ 早朝練習は、7：15からとし、8：10には、部室の鍵を返却します。
- ⑦ 土・日・祝日の練習は、顧問不在の時には活動できません。
- ⑧ クラブで統一したユニフォームや練習着は、学校で確認の上、着用してもよい。
(靴下は、学校が規定したものとする)
- ⑨ 今年から柔道部、剣道部、水泳部はなくなりましたが、大会に出場したい人は4月中に担任の先生へ申し出てください。
- ⑩ 定期試験の1週間前の午後練習から試験最終日の朝練習までは活動できません。
また、実力テスト・課題テストの1日前は、活動できません。

【体育館の使用について】

- ① 顧問の先生の指導のもとで使用します。生徒だけの使用はできません。
- ② 館内は、土足禁止です。アリーナは体育館専用シューズのみとします。
- ③ ステージ、更衣室、2階は許可なく使用してはいけません。
- ④ 館内での飲食は厳禁です。
- ⑤ イスなどを使用する場合は、必ずシートの上に置くこと。フロアの上に直接置いてはいけません。(ただし、いすカバーが着いているものは除く)
- ⑥ 使用後は、必ず先生の指導で後始末、モップを使って清掃、消灯、戸締まりをします。
- ⑦ 以上のきまりが守れないときは、体育館の使用を禁止します。

【運動部、部室使用規定】

- ① 部室の使用は、部員のみとします。部員以外の入室、使用は認めません。
- ② 部室の使用時間は、部活動の開始より終了までとします。
- ③ 部室の中には、部活動に必要な物品以外の私物を一切置いてはいけません。
(体操服などは持ちかえること！)
- ④ 部室は、毎日部員で清掃し、整理整頓に努めること。(定期的に点検します)
- ⑤ 部室の開閉は、部活動の顧問の指示によるものとします。
「カギ」の保管については、次のことを原則とします。
※活動中は施錠して、その間「カギ」は職員室の所定の場所に置いておく。
※活動終了後に「カギ」を職員室に取りにいて開け、着替え終了後に施錠し「カギ」を職員室に返す。
※ただし、顧問の指示で、部員で責任をもって管理できる場合には、別とします。
- ⑥ 土曜・日曜・祝日をふくめて部室での飲食は、一切禁止します。
- ⑦ 上の規定に違反した場合は、部室の使用を禁止します。

【通学方法について】

- ① 自転車通学は禁止しています。
- ② バス通学は許可しています。希望者には、定期券購入申込書の証明印を押します。申込書を持って、交通局で購入してください。

【定期テストの受け方と心得】

中学校では、学習したことについて理解を深め、定着を図るために、定期的に中間試験・期末試験・課題テスト・実力テストを行っています。

①試験発表と学習

◎ 試験の一週間前に、試験の時間割と試験範囲が発表になります。部活動も停止され、学習に専念できる環境になります。そのときに、次のことに注意しよう。

* 計画表を活用して、試験発表期間中の学習計画を立てる。（どれだけの学習時間が確保できるかを考え、学習する教科を割り振る。）

* 試験発表中の健康には十分注意し、当日、きちんと試験が受けられるように気をつける。

* 試験終了後に提出物がある場合には、必ず仕上げておく。

②試験当日の注意事項

◎ 次のことを守って、試験を受けること。

* 机の上の落書きなどは、消しておく。

* 机の中は、筆記用具や試験に必要なもの（鉛筆・消しゴム・コンパス・定規など）以外は何も入れてはいけない。机の中のものにはロッカーに入れる。

* 試験中に用具の貸し借りをしてはいけない。試験に必要な用具はきちんと確認して準備しておく。

* カバンや机のフックにかかっているものは、ロッカーや教室の前後にきちんと置いておく。

* 机の上には試験に必要な用具のみを出しておく。筆入れは机の中に入れておく。

* チャイムが鳴ったら、すぐに試験が始められるように準備をし、静かに席で待っておく。

* 号令の後、担当教諭が試験問題を列ごとに全員に配り終わり、「はじめ」の合図があるまでは、問題用紙を表にしたり、鉛筆を持つてはいけない。

* 「はじめ」の合図で、最初にクラス・番号・名前を記入し、試験を始める。

* 消しゴムや鉛筆が落ちたとき、質問があるときは静かに手を挙げて待っておく。もし、先生が気づかないときは、「先生」と声をかけること。

* 問題の内容に関わる質問は、担当の先生が教室に来られるまで待っておく。

* 下敷きは使用しない。

- * 試験中にトイレに行くことはできない。必ず、休憩時間にトイレはすませておく。
- * 試験はわかる問題からやるようにする。
- * 時間があれば、見直しをする。
- * キョロキョロしたり、よそ見をしたりしない。疑われるような行為は絶対にしない。
- * 不正行為を行った場合は、そのテストの点数はつかない。
- * 試験終了のチャイムが鳴ったら、すぐに鉛筆を置く。
- * 答案は出席順に集める。裏返しにおいて、最後尾の人が重ねるように集め、男子と女子でまとめる。監督の先生が確認したら、号令をかけて終了する。

* 試験当日に欠席した場合は、翌日の再試験を受けることはできない。
見込み点で評価される。